

第15回 京都伝統文化こども教室

華包 & 観桜茶会

2023年

4月1日(土)

華包 10時～12時

茶会 10時～16時

会場

京都銀閣寺畔 白沙村荘 橋本関雪記念館
「存古楼」「憩寂庵」

〒606-8406 京都市左京区浄土寺石橋町37
Tel.075-751-0446

参加費 ※庭園&記念館の見学料含む

子供 1,000円 (華包希望者+1,000円)

会員 3,000円 (華包希望者+2,000円)

一般 5,000円 (華包希望者+2,000円)

新型コロナウイルス感染症対策を行っております。マスク着用のうえ、お越しくださいますようお願い申し上げます。

申し込み
お問合わせ先

一般社団法人 アジャッパ

Tel. 075-406-1758 (午前11時～午後6時)

〒602-8158 京都市上京区智恵光院通下立売下中務町486 <https://www.ajappa.com>



桜が咲く美しい季節が、待ち遠しい今日この頃。
 今年も桜が咲くころ、未生流笹岡 笹岡隆甫家元を迎え、春の華包を習います。
 白沙村荘の存古楼から橋本関雪が愛でた、緑あふれる庭園を眺めながら学び、
 そのあとは庭園内の茶室で観桜茶会を楽しみます。
 教えに来て下さるのは、裏千家村上宗美先生。
 庭園散策、記念館見学も醍醐味のひとつです。



華道(華包)
 指導者
笹岡 隆甫
 ささおか りゅうほ

華道「未生流笹岡」家元。京都大学工学部建築学科卒業。2011年三代目家元を継承。近著に「いけばな」(新潮選書)

華包(はなつつみ)

江戸時代の遠州流の伝書「正風挿花切紙口傳書(しょうふうそうかきりがみくでんしょ)巻之三(まきのさん)」には、それぞれの花に合わせた包み方が残されている。和紙を熨斗(のし)のように折り、そこに季節の花を挿す。献花や供花の際に使用した。

京都華包研究会

京都の若手華道家が流派を超えて集い、2014年11月に発足。江戸時代の伝書に残る「華包」を現代に復活させ、提案する。ユネスコの無形文化遺産に登録された「和紙」と一輪の花、一枚の葉の輪郭まで際立たせる「いけばな」のエッセンスを融合。

京都銀閣寺畔 白沙村荘 橋本関雪記念館

「存古楼」「憩寂庵」 ☎606-8406
 京都市左京区浄土寺石橋町37
 Tel.075-751-0446



バス

JR京都駅から乗車の場合
 → 市バス100で銀閣寺前、5または17系統で銀閣寺道へ
 阪急京都河原町駅から乗車の場合
 → 市バス32で銀閣寺前、5系統で銀閣寺道へ
 京阪出町柳駅から乗車の場合
 → 市バス17系統で銀閣寺道へ

電車

JRを御利用の場合(京都駅から)
 → 市営地下鉄にて烏丸今出川駅→市バスまたはタクシーで銀閣寺道へ
 阪急電車を御利用の場合(阪急京都河原町駅から)
 → 京阪電車にて祇園四条駅から出町柳駅まで→市バスまたはタクシーで銀閣寺道へ
 京阪電車を御利用の場合(京阪出町柳駅から)
 → 市バスまたはタクシーで銀閣寺道へ

【申し込み方法】

メールまたはFAXで下記に必要事項を記入の上、お申し込みください。申し込み後、下記口座に参加費をお振り込みください。HPからのお申し込みの場合、クレジットカード決済が可能になります。表面下記のQRコードよりHPを御覧ください。振込み確認ができましたら申し込み完了となります。なお、振込手数料はご負担くださいますよう、よろしくお願いいたします。

メール / AjaPPa@kk-ark.jp FAX / 075-406-1788

三菱UFJ銀行 西陣支店 普通口座 0125281

| | | | |
|------------|----------|-------------------|-------------------|
| 振込先 | | | |
| ふりがな 氏名 | | 参加人数 | 子供 1,000円 … 名 |
| 住所 | 郵便番号 () | | 華包参加 + 1,000円 … 名 |
| | | | 会員 3,000円 … 名 |
| 電話番号 | 携帯電話番号 | | 一般 5,000円 … 名 |
| | | 華包参加 + 2,000円 … 名 | |